

## 第5章 「かつしか観光プラン」の着実な推進に向けて

第4章までにまとめた「かつしか観光プラン」を今後着実に推進し、葛飾区における観光振興を図るために、以下のように取り組むこととします。

### 観光関連事業者と区民

昨今、人々の観光目的は、温泉観光地への旅行やレジャー活動などに限らず、身近なまちで時間を楽しむことも含めて、その裾野が広がっています。そうしたことから、観光関連の事業者が自らの施設やサービスを高め、効果的な情報発信に取り組むとともに、区民自身が身近なところをより良く魅力的にし、それを外へ伝えることによって、区外の人々にも葛飾区の良さが理解され、葛飾区の観光振興へつながっていくと期待されます。

また、民間観光関連事業者は多くの来訪者を望み、一方そこに住む区民は安らぎのある暮らしやすいまちづくりを願っています。この立場の違いはありますが、自らの“まち”を誇り、想う気持ちに違いはないことから、「かつしか観光プラン」を理解し、相互に協調し合いながら、「にぎわいと安らぎのある観光まちづくり」に取り組みます。

### 葛飾区観光協会と葛飾区

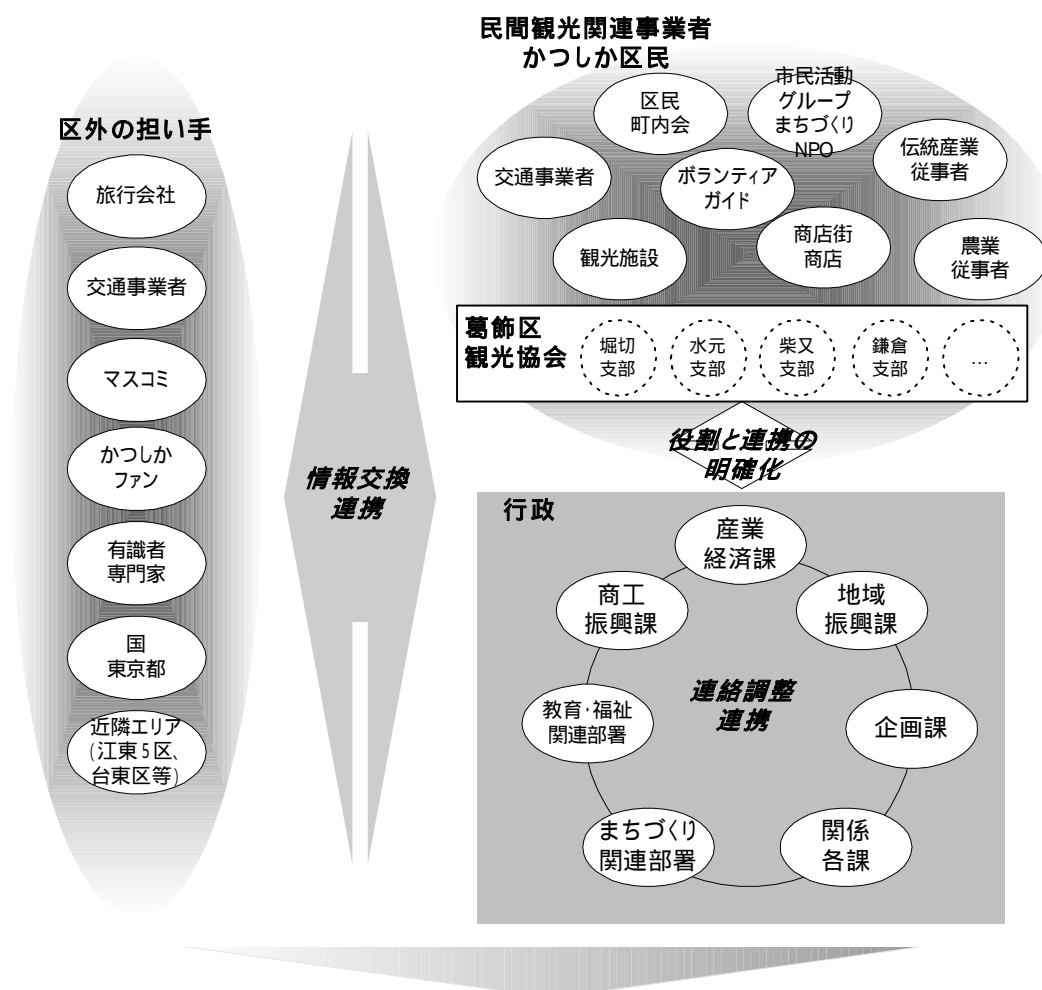
葛飾区観光協会は、古くは江戸時代からの行楽地・観光地としての実績を持ち、先人の知恵を受け継いできています。葛飾区観光協会は、その時間的蓄積を元に「かつしか観光プラン」の着実な推進にあたり、商工会議所や商店街連合会等の観光関連組織、区内の民間事業者、NPO、行政、そして一般区民を結びつけ、連携させることが求められます。そのためには、観光協会の各支部がそれぞれの活動を強化するとともに、葛飾区観光協会としての組織力を高めることが不可欠です。

葛飾区は、庁内の観光関連部署やまちづくり関連部署、教育・福祉関連部署など関係各課が相互に連絡調整・連携を図ります。民間事業者や区民の取り組みを支援する観光協会と関連部署の一元的対応を深めた行政が、その連携を強めて、区全体として観光プランが着実に推進されるよう務めます。

## 観光に関わる多様な担い手

旅行会社や交通事業者、民間の観光関連事業者及び国や東京都、隣接区といった行政、そして「葛飾（かつしか）」に対して親しみや愛着を持っている“かつしかファン”といえる人々は、「かつしか観光」について、区外から客観的な目で現状と可能性を捉えることができる観光に関わる担い手といえます。

区内の観光関連事業者や葛飾区は、こうした組織や人々とも緊密な情報交換や連携を図りながら、「かつしか観光」の振興に向けた取り組みを進めていきます。



### 将来目標像

川の手の魅力と情緒が息づくまち かつしか  
～ 住む人・訪れる人がともに織りなす  
にぎわいと安らぎの交差点づくり ～